



## 産業廃棄物減量化・適正処理推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	大川 淳一郎								
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める (地域力) ] 政策 [ 15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ]				関連する県の計画等		[ 福井県環境基本計画、福井県廃棄物処理計画 ]												
[解決すべき問題・課題] 産業廃棄物は排出事業者に処理責任が課せられているため、排出事業者に対して廃棄物の排出抑制、再生利用および適正処理にかかる啓発を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 産業廃棄物最終処分量：平成30年度実績 81千トン 令和7年度目標 59千トン													
[事業目的] 排出事業者団体ごとに再生利用や適正処理を推進するための会議などを開催し、廃棄物の排出抑制、再生利用および適正処理を推進する。																			
[事業内容]  (1) 県産業資源循環推進会議 (年3回) ・産業廃棄物を排出する事業者の業界団体、産業廃棄物処理団体および行政を交えた会議を開催し、各業界団体における具体的な課題を共有し、解決を図ることで、排出抑制、再生利用および適正処理を推進  (2) 中小規模排出事業者研修会・中小規模排出事業者アドバイザー等派遣 (年6回) ・中小排出事業者に対する適正処理に関する研修に加え、具体的な分別や排出抑制の進め方についてアドバイスを希望する事業者向けにアドバイザー等の専門家を派遣  (3) 多量排出事業者向け研修会 (年1回) ・産業廃棄物排出量の約7割を占める多量排出事業者 (500t/年以上) の排出抑制や再生利用を推進するための研修会を開催																			
[受益者] 県内各排出事業者						[想定される受益者数] —													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況						他県の状況	・排出事業者向け研修、専門家による相談は他県事例あり。 ・産業資源循環推進会議については、他県事例無し。												

## 産業廃棄物減量化・適正処理推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	大川 淳一郎				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			9 年
補助率	-														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	833				833										
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		476	707	904	833	833									
2月現計予算額の推移		476	479	904	833										
決算額の推移		312	414	444											
前年度までの 主な増減理由		・ 令和3年度 県産業資源循環推進会議、産業廃棄物減量化等相談会の追加													
[成果指標等の推移]															
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	最終処分率	(目標)	(1.8)						最終処分率＝最終処分量／排出量(%) 最終処分率は5年毎に実施の産業廃棄物実態調査により調査 令和7年度目標値 2.0%						
		実績	2.7												
活動指標	研修会開催数	(目標)	(7)	(7)	(10)	(10)	(10)		産業資源循環推進会議3回、多量排出事業者研修会1回、中小規模排出事業者 研修会6回						
		実績	6	2	2	3									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価							
<事業による要因> ・ 産業資源循環推進会議を開催内容に合わせて合同で実施したため、開催数が減少 <外的要因> ・ 研修会について、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中小規模排出事業者研修会の開催方法を動画配信形式としたことにより開催数が減少				・ 中小規模排出事業者研修会に合わせて実施していた産業廃棄物減量化等相談会を、個々の企業が抱える事情に応じた現場での支援ができるようアドバイザー等派遣に変更				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 廃棄物・リサイクル産業育成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	大川 淳一郎
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H30 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R7 年度
事業実施方法	直営、補助金										
補助率	1/2										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ]				関連する県の計画等		[ 福井県環境基本計画、福井県廃棄物処理計画 ]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
社会に必要な施設である産業廃棄物処理施設を確保するため、県民に対して産業廃棄物処理業のイメージアップを図る必要がある。						県内廃棄物焼却処理施設9施設(令和5年2月末時点) (施設の耐久年数は平均20~30年。地元理解が得られず建替等ができなければ廃棄物が処理できなくなる)					
[事業目的]											
廃棄物処理業者による地域貢献活動を支援し、廃棄物・リサイクル産業のイメージアップを図る。											
[事業内容]											
(1) 県民を対象とした廃棄物処理施設等見学会の開催(年2回 参加人数: 40名程度) 廃棄物の排出事業所から再生処理を行う廃棄物処理施設、再生されたリサイクル製品を使用する現場までを巡るリレー形式や、あらかじめ希望を聞いた上で見学する処理施設を選択できるオーダーメイド形式の見学会を実施  (2) 廃棄物処理業者への補助(地域貢献型施設等整備補助金) 補助対象 余熱の利活用等、地域貢献を行うための施設整備費等 補助率 1/2 補助上限額 200万円											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] -					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況	・施設見学会は他県の事例有り。				

## 廃棄物・リサイクル産業育成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	大川 淳一郎		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度		
事業実施方法	直営、補助金					□ 法定受託事務			■ 補助金			H30 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
補助率	1/2								□ その他			経過年数 6 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,606				2,606								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		5,633	5,606	5,606	5,606	2,606	・ 地域貢献型施設等整備補助金の上限額を補助実績に合わせて見直し						
2月現計予算額の推移		5,633	5,000	5,000	2,389								
決算額の推移		4,460	1,274	0									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	地域に貢献する廃棄物処理業者 (目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	補助件数 1件				
	実績	1	1	0	1								
活動指標	廃棄物処理施設等見学会参加人数 (目標)	(60)	(60)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	2回 (廃棄物処理施設等見学会開催数) × 40人 (参加者数)				
	実績	42	—	—	22								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果指標の地域貢献型施設整備補助金については、制度の周知を図るとともに、具体的な補助対象事業の例を示すことにより目標達成&lt;外的要因&gt;</li> <li>・ 活動指標の見学会参加人数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため募集人数を絞込んだ。</li> <li>&lt;事業による要因&gt;</li> <li>・ 応募者が少なかったため見学会を1回中止した。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域貢献型施設等整備補助金を補助実績に合わせて上限額を見直して継続</li> </ul>				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	3,000		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

## ごみ減量化・リサイクル推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	大川 淳一郎							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度						
事業実施方法	直営																	
補助率	—																	
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ]				関連する県の計画等		[ 福井県環境基本計画、福井県廃棄物処理計画 ]											
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]												
令和7年度までに「福井県廃棄物処理計画」における一般廃棄物の減量化およびリサイクルの目標値を達成する必要がある。						1人1日当たりのごみ排出量(令和2年度) 901g(目標(令和7年度) 858g) リサイクル率(令和2年度) 18.2%(目標(令和7年度) 21%)												
[事業目的]																		
市町と協働したごみ減量化の取組み強化や、ものを大切に使い続ける社会づくりを進めることにより、一般廃棄物の減量化を推進する。																		
[事業内容]																		
<p>(1) 市町のごみ減量化の取組み推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量化推進会議および部会の開催</li> <li>・市町のごみ組成調査に対する支援</li> <li style="padding-left: 40px;">市町が実施するごみ組成調査にアドバイザーを派遣</li> </ul> <p>(2) リユースの意識付けの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修理ボランティア団体に対する支援</li> <li>・総合的なリユースイベントの開催</li> </ul>																		
[受益者] 県民						[想定される受益者数] —												
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 リペア・リユース推進事業 (実績)  ・リユース行事を行う民間団体を17団体育成					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)											
市町との連携状況	・市町のごみ政策責任者と市民代表によるごみ減量化推進会議の開催					他県の状況	1人1日当たりのごみ排出量 901g 全国25位(令和2年度) 富山県 990g 46位 石川県 899g 24位											

## ごみ減量化・リサイクル推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	大川 淳一郎		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							
補助率	-												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,093					1,093							
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					1,659	1,457	1,093	・リユースイベント開催に係る経費に対する補助金の廃止による減					
2月現計予算額の推移					1,659	1,457							
決算額の推移					883								
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	1人1日当たりごみ排出量 (g)	(目標) 実績	912	901	(未発表)	(未発表)				計画での目標値：858g (令和7年度まで) 県内ごみ総排出量÷(県内人口×365日)			
活動指標	修理ボランティア人材育成講座開催数	(目標) 実績			(3) 2	(3) 2	(3)			お直しリメイク講座2回、おもちゃドクター養成講座1回			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量化推進会議の開催(6月、1月)</li> <li>・福井市の組成調査にアドバイザーを派遣(12月)</li> <li>・おもちゃ病院の開催 77回(2月末時点)</li> <li>・総合リユースイベントを開催(10月)</li> <li>・リユースイベント開催に係る経費に対する補助 0件</li> </ul> <外的要因> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動指標について、新型コロナウイルス感染拡大によりお直しリメイク講座の開催数が減少</li> </ul>				・近年の実績を踏まえ、リユースイベント開催に係る経費に対する補助金を廃止				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	364		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

## 食品ロス削減推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	大川 淳一郎
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H18 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 4 安心を高める (地域力) ] 政策 [ 15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ]				関連する県の計画等	[ 福井県環境基本計画、福井県廃棄物処理計画 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
令和7年度までに「福井県廃棄物処理計画」における一般廃棄物の減量化およびリサイクルの目標値を達成する必要がある。						1人1日当たりのごみ排出量 (令和2年度) 901g (目標 (令和7年度) 858g) リサイクル率 (令和2年度) 18.2% (目標 (令和7年度) 21%) 食品ロス量 (H30年度) 31千トン (目標 (令和7年度) 28千トン)					
[事業目的]											
食品ロス削減に取り組む県民の拡大を図るとともに、事業者や家庭からの未利用食品や食べ残しを減らす仕組みを構築し、食品ロスを削減する。											
[事業内容]											
(1) 地域で食品ロス削減の活動を広める「フードロスマイスター」の養成 (2) 商品棚の手前にある商品を積極的に選ぶ購買行動「てまえどり」の推進 (3) 売れ残り食品の情報を消費者に提供するアプリの活用推進 (4) 未利用食品の活用推進 ・フードバンク活動の推進 ・フードドライブの推進 (5) 連合婦人会と協働した「おいしいふくい食べきり運動」の推進 (6) ネットワーク協議会による「おいしい食べきり運動」の全国発信											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] —					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・食品ロス実態調査に基づき市町で策定した「おいしいふくい食べきり推進アクションプラン」を実施					他県の状況	全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会参加自治体数 47都道府県、392市区町村 (令和5年2月末現在)				



## 食品ロス削減推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	循環社会推進課	課長名	大川 淳一郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H18 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営										経過年数			18 年
補助率	—										18 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	3,256	1,628			1,628	地方消費者行政強化交付金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		2,196	4,465	3,424	2,007	3,256	・「てまえどり」推進による増							
2月現計予算額の推移		2,196	4,378	3,424	2,007									
決算額の推移		2,079	4,361	3,292										
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 フードバンクモデル事業の実施</li> <li>・令和3年度 おいしい食べきり実践キャンペーンの終了による減</li> <li>・令和4年度 フードバンクモデル事業終了による減</li> </ul>												
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	食品ロス削減に取り組む 人の割合	(目標)		(80)	(82)	(83)			計画での目標値：85%（令和7年度まで）					
		実績		80	82									
活動指標	フードロスマイスター認 定者数	(目標)		(160)	(190)	(220)			令和7年度までに250人を養成					
		実績		168	196									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
成果指標および活動指標について、下記の取組みにより目標達成 ・フードロスマイスター初級 196名認定 (R5.1月末時点) ・フードロスマイスター上級認定者の養成開始 ・フードドライブ実施状況の周知広報による活動推進 ・食べきり共同キャンペーンの実施 (10月、12月)				・家庭での食品ロス削減の取組みに加え、食品小売店事業者の食品ロスを削減するため、陳列棚の手前にある消費期限の近いものを積極的に選ぶ「てまえどり」を推進				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				